

アスパラガス栽培管理(H30.1.)

(有) 丸 富

12月は曇天が多く、ハウス内の地温が低下したので、黄化が進んだ。収穫が終わっているのに、病害虫の発生はなかった。各地を訪問したら、黄化ではなく、枯れ込んで葉が落ちていたところも見受けられた。

全刈り、焼却、かき落とし

貯蔵根の糖度が20度近くになり、貯蔵養分が十分に蓄積したら茎葉を刈り取る。病害虫対策として株周辺部をガスターナーで焼く。

元肥(土壌改良)

作物づくりは土づくりで決まる！と、言っても良いくらい大事なことである。基礎になるのは、排水性、次に化学性、そして微生物性。土壌分析を行い、必要に応じて施肥する。多年収穫するアスパラガスは連作する野菜と同様で、微量要素(ミネラル)が不足しやすいので、肥料だけでなく微量要素の補給もお忘れなく！

病害対策

茎枯れや立枯れなど病害にかかり腐った株は、全刈りする前に印を付けておき、冬場に根株を取り除く。土を埋め戻す際に、ハイプロを土に10%混ぜて埋め戻す。また、焼却後、防除後にハイプロを地表面に3~5袋/10a撒布する。

害虫対策

ガスターナーで焼却すると、ほとんどの害虫は死滅する。但し、地中深くに隠れることもあり、注意が必要。焼却では届かない土中や地下部の害虫対策にバイオアクトTS 50~70cc/10aを時々灌水する。

有害ガス除去

アスパラガスの蒸し込みは大変高温にするので、有機質肥料や堆肥から大量の有害ガスが発生する事がある。有害ガスの除去にGバランス細粒 10kg/10a撒布(又はGバランスDF 1kg/10a灌水)を行う。

保温(蒸し込み)前対策

低温要求量を満たしたら、保温前にたっぷり水を与え、萌芽を促す。水をたっぷり与えた後、保温前に天地の恵み 500倍(又は天地の恵み 1ℓ/10a)を散水(灌水)する。

追肥(液肥)

土壌環境、並びに作型、天気、根の働きによっても増減する。

天地の恵み(又はプロ液肥)	200g(1kg)/10a	} 5~7日ごとに灌水する場合 ※収穫量や土壌条件、天候によって加減する。
時を越えた贈り物	200g/10a	
サンミネーラ(又はシリカアップ)	50g(100cc)/10a	
バイオアクトTS	50~70cc/10a	

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 0942-65-0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24時間受付) 携帯 090-3328-7603 (富松まで)